

総会

先駆的な事業 展開に取組む

泥土リサイクル協

泥土リサイクル協会（木村孟理事長）は25日、名古屋市内で総会を開いた。



木村理事長「写真」は、「本協会の活動は、泥土のリサイクルに関して、建設汚泥だけでなく、災害堆積土砂など高含水泥土の有効利用まで広がってきた」とこ

れまでの活動を振り返り、「廃石こうボードの有効利用に関する研究が、環境省の環境研究総合推進費による研究課題に採択された。廃石こうボードの有効利用は、本協会が10年前から提唱してきたものであり、事業活動が認められたと強く感じている。今後も環境負荷低減に対し、先駆的な事業展開に取り組んでいく」

と力強く語った。

2017年度の事業計画案では、泥土リサイクルの促進や、先駆的な環境ビジネスの推進、大規模地震への備えなどが挙げられている。

また当日は、国際航業技術サービス本部の中島誠さんによる、「土壌汚染対策を巡る最新の動向」と題した基調講演が行われた。